



平成28年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年9月9日

上場会社名 株式会社カナモト 上場取引所 東 札
 コード番号 9678 URL http://www.kanamoto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金本 寛中
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経理部長 (氏名) 卯辰 伸人 TEL 011(209)1600
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第3四半期の連結業績（平成27年11月1日～平成28年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第3四半期	103,422	4.5	10,576	△15.4	10,049	△19.9	5,889	△21.5
27年10月期第3四半期	98,956	6.8	12,498	△2.5	12,546	0.9	7,499	4.2

(注) 包括利益 28年10月期第3四半期 5,935百万円 (△27.3%) 27年10月期第3四半期 8,162百万円 (2.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第3四半期	166.65	—
27年10月期第3四半期	208.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第3四半期	218,270	78,548	33.9
27年10月期	202,919	71,998	34.3

(参考) 自己資本 28年10月期第3四半期 73,985百万円 27年10月期 69,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年10月期	—	15.00	—	—	—
28年10月期（予想）	—	—	—	30.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想（平成27年11月1日～平成28年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,200	7.4	14,630	△10.1	14,100	△12.8	8,550	△10.5	241.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年10月期3Q	36,092,241株	27年10月期	36,092,241株
② 期末自己株式数	28年10月期3Q	753,079株	27年10月期	752,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年10月期3Q	35,339,234株	27年10月期3Q	36,039,308株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

将来に関する記述等についてのご注意

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[経営環境 (2015 (平成27) 年11月～2016 (平成28) 年7月)]

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、これまでの経済政策や金融政策の継続により、景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、新興国の経済減速や、英国のEU離脱の影響による世界経済の減速懸念に伴い株安・円高が進むなど、引き続き留意が必要な状況でありました。

[第3四半期の連結業績 (2015 (平成27) 年11月～2016 (平成28) 年7月)]

当社グループが関連する建設業界におきましては、民間建設投資は建築・設備投資ともに堅調に推移しました。また、災害復興や東京五輪等に伴う建設需要は強さがあるものの、地方における建設需要はインフラ整備工事などが全体的に着工遅延の状況にあり弱含みの状態が続いております。今後は徐々に回復の動きがみられると予想されますが、総体的な経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画 (平成26年度～平成28年度) の諸施策に基づく重点項目の推進に努め、官民の需要が集中する首都圏等を中心に拠点展開を進めるとともに、成長戦略の一環として新たに「特機エンジニアリング部」を発足させ、同部に「トンネル課」と「水処理課」を設置するなど、国内営業基盤の拡充と拡大に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,034億22百万円 (前年同期比4.5%増) となりました。利益面につきましては、レンタル資産等への投資増強に伴う減価償却費の負担増加の影響から、営業利益は105億76百万円 (同15.4%減)、経常利益は100億49百万円 (同19.9%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億89百万円 (同21.5%減) となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<建設関連>

当社の主力事業である建設関連におきましては、東北復興や東京五輪に向けたインフラ再整備を中心に、建設需要は底堅く推移しました。また、㈱ニシケンの新規連結組み入れにより、これまで拠点展開の少なかった九州地区で売上が大きく増加しております。なお、当社グループは、熊本県熊本地方で発生した地震による災害復旧活動に対応する為、グループ企業との連携強化や経営資源の実効的な配分を行うなど、グループの総力を挙げて現地の復旧支援に対応しております。

なお、中古建機販売につきましては、自社保有のレンタル資産の適正な資産構成を維持するため、期初計画どおりの売却に留めたことから、売上高は前年同期比4.0%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は948億30百万円 (前年同期比3.3%増)、営業利益は98億72百万円 (同17.7%減) となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連ともに堅調に推移したほか、新たに㈱ニシケンにおける福祉関連事業が加わったことから売上高は85億91百万円 (前年同期比20.3%増)、営業利益は3億92百万円 (同72.4%増) となりました。

<事業所数の増減>

当第3四半期連結会計期間における拠点の新設は中讃営業所 (香川県善通寺市)、新庄営業所 (山形県新庄市)、山梨南営業所 (山梨県南巨摩郡)、柏崎営業所 (新潟県柏崎市)、石狩営業所 (北海道石狩市) の計5拠点でありました。なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,182億70百万円となり、前連結会計年度末から153億50百万円の増加となりました。これは主に㈱ニシケンを連結範囲に含めたことを加味し、「レンタル用資産」が84億25百万円、「建物及び構築物」が25億54百万円及び「土地」が27億94百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は1,397億21百万円となり、前連結会計年度末から88億円の増加となりました。これは主に総資産の増加と同様に新規連結を加味し、「長期借入金」が41億円、「短期借入金」が40億32百万円及び「未払金」が23億13百万円それぞれ増加した一方で、「未払法人税等」が32億円減少したことによるものであります。

純資産合計は785億48百万円となり、前連結会計年度末から65億50百万円の増加となりました。これは主に当第3四半期純利益を58億89百万円計上並びに「非支配株主持分」が21億53百万円増加した一方で、剰余金の配当金によって12億36百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月10日付で発表いたしました「平成28年10月期業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更は現時点ではございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（法人税率等の変更による影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成28年11月1日及び平成29年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については32.0%から30.6%に、平成30年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については32.0%から30.4%にそれぞれ変更となる見込みです。

この法定実効税率を適用したことにより、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は10百万円減少し、法人税等調整額が48百万円、その他有価証券評価差額金は37百万円、それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,900	34,297
受取手形及び売掛金	37,251	38,023
有価証券	350	200
商品及び製品	672	813
原材料及び貯蔵品	272	351
建設機材	8,214	9,800
繰延税金資産	610	428
その他	623	851
貸倒引当金	△701	△702
流動資産合計	83,195	84,064
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産	164,914	187,602
減価償却累計額	△97,573	△111,834
レンタル用資産(純額)	67,341	75,767
建物及び構築物	25,840	30,752
減価償却累計額	△16,275	△18,633
建物及び構築物(純額)	9,564	12,118
機械装置及び運搬具	5,714	6,954
減価償却累計額	△4,965	△5,899
機械装置及び運搬具(純額)	749	1,055
土地	32,354	35,148
その他	2,539	1,939
減価償却累計額	△1,112	△1,311
その他(純額)	1,426	628
有形固定資産合計	111,436	124,718
無形固定資産		
のれん	—	675
その他	316	396
無形固定資産合計	316	1,072
投資その他の資産		
投資有価証券	6,317	6,473
繰延税金資産	285	350
その他	2,008	2,336
貸倒引当金	△528	△526
投資損失引当金	△110	△219
投資その他の資産合計	7,972	8,414
固定資産合計	119,724	134,205
資産合計	202,919	218,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,775	27,098
短期借入金	727	4,760
1年内償還予定の社債	—	80
1年内返済予定の長期借入金	12,550	13,747
リース債務	1,585	1,418
未払法人税等	3,711	511
賞与引当金	856	790
未払金	19,233	21,546
その他	3,093	2,605
流動負債合計	69,534	72,557
固定負債		
社債	—	10
長期借入金	19,614	23,714
リース債務	1,831	2,790
長期未払金	39,254	39,791
役員退職慰労引当金	—	90
退職給付に係る負債	—	253
資産除去債務	317	381
その他	368	130
固定負債合計	61,387	67,163
負債合計	130,921	139,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	41,156	45,808
自己株式	△2,128	△2,129
株主資本合計	67,597	72,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,948	1,598
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	43	137
その他の包括利益累計額合計	1,991	1,735
非支配株主持分	2,409	4,563
純資産合計	71,998	78,548
負債純資産合計	202,919	218,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)
売上高	98,956	103,422
売上原価	68,116	72,706
売上総利益	30,840	30,716
販売費及び一般管理費	18,341	20,139
営業利益	12,498	10,576
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	109	135
受取保険金	29	20
受取賃貸料	50	52
受取報奨金	24	10
為替差益	190	—
貸倒引当金戻入額	3	30
その他	145	147
営業外収益合計	558	400
営業外費用		
支払利息	383	208
手形売却損	14	9
為替差損	—	453
投資損失引当金繰入額	—	109
その他	113	145
営業外費用合計	510	927
経常利益	12,546	10,049
特別利益		
固定資産売却益	8	17
補助金収入	12	6
受取損害賠償金	118	—
段階取得に係る差益	—	14
特別利益合計	138	39
特別損失		
固定資産除売却損	123	65
減損損失	42	—
投資有価証券評価損	27	—
関係会社株式評価損	—	49
特別損失合計	193	115
税金等調整前四半期純利益	12,491	9,973
法人税、住民税及び事業税	4,473	3,468
法人税等調整額	305	301
法人税等合計	4,779	3,769
四半期純利益	7,712	6,204
非支配株主に帰属する四半期純利益	213	314
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,499	5,889

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)
四半期純利益	7,712	6,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	436	△362
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	12	93
その他の包括利益合計	449	△268
四半期包括利益	8,162	5,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,952	5,625
非支配株主に係る四半期包括利益	210	310

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	建設関連		
売上高			
外部顧客への売上高	91,813	7,143	98,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	91,813	7,143	98,956
セグメント利益	11,992	227	12,220

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄鋼関連事業、情報通信関連事業及びその他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,992
「その他」の区分の利益	227
その他の調整額	278
四半期連結損益計算書の営業利益	12,498

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「建設関連」セグメントにおいて、のれんの減損損失42百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	建設関連		
売上高			
外部顧客への売上高	94,830	8,591	103,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	94,830	8,591	103,422
セグメント利益	9,872	392	10,264

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄鋼関連事業、情報通信関連事業、福祉関連事業及びその他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,872
「その他」の区分の利益	392
その他の調整額	312
四半期連結損益計算書の営業利益	10,576

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第2四半期連結会計期間において、(株)ニッケンを連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、「建設関連」380百万円、「その他」331百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する情報

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計期間の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。